

## 令和 5 年度 清須市地域包括支援センター事業報告

## 1. 年間相談実績

①相談件数 ⇒ のべ件数：17,579 件 ※昨年度比で約 7.5% (1,228 件) 増加

## ◆地区別件数

地 区	西 枇	新 川	清 洲	春 日	そ の 他	合 計
件 数	4,389	4,654	6,594	1,793	149	17,579

◇うち新ケース地区別件数：1,114 件 ※昨年度比で約 2.8% (31 件) 増加

地 区	西 枇	新 川	清 洲	春 日	そ の 他	合 計
件 数	275	322	345	91	81	1,114

◇うち新ケース相談形態種別：1,114 件 ※昨年度比で約 2.8% (31 件) 増加

種 別	電 話	訪 問	来 所	メー ル ・ f a x	合 計
件 数	797	36	280	1	1,114

## 2. 包括的支援事業

## (1) 総合相談支援業務

①相談実績 ⇒ のべ件数：18,283 件 ※昨年度比で約 9.6% (1,603 件) 増加

## ◆相談内訳

	内 容	西 枇	新 川	清 洲	春 日	不 明	合 計
1	介護保険申請代行	57	62	146	33	3	301
2	基本チェックリスト実施	14	24	30	6	0	74
3	介護保険サービス	942	1,023	1,091	359	34	3,449
4	介護予防・生活支援サービス	535	631	813	162	12	2,153
5	一般介護予防事業	35	31	131	17	1	215
6	医療保険サービス	307	247	327	139	8	1,028
7	障害福祉サービス	41	80	43	17	3	184
8	清須市独自サービス	169	163	193	83	1	609
9	インフォーマルサービス	48	52	83	10	4	197
10	施設入所に関する相談	163	175	142	35	19	534
11	福祉用具	422	409	613	136	20	1,600
12	住宅改修	282	272	324	68	1	947
13	ケアマネ調整・引き継ぎ	212	280	269	78	15	854

	内 容	西 枇	新 川	清 洲	春 日	不 明	合 計
14	医療機関との連携・会議	286	274	251	65	5	881
15	介護者への相談・支援	308	412	120	82	13	935
16	認知症に関する相談	463	572	237	108	9	1,389
17	精神疾患に関する相談	117	217	46	17	2	399
18	栄養・口腔に関する相談	4	19	11	0	1	35
19	ペットに関する相談	0	0	23	1	0	24
20	仕事に関する相談	4	7	5	0	0	16
21	住まいに関する相談	70	40	41	6	2	159
22	安否確認	77	63	72	15	5	232
23	家族に関する相談	95	285	61	28	0	469
24	在宅医療	60	41	81	28	2	212
25	その他の相談	345	326	553	125	38	1,387

◆各種事業参加者への継続的なフォロー

	実施内容	件 数
1	家族介護者交流カフェ参加者への相談・支援	69

②実態把握

	実態把握の実施内容	把握及び対応
1	サービス未利用者の把握と支援、民生委員・近隣住民・市などからの相談による把握と支援	701

③PR・広報

項 目	内 容
社協だより「てとて」への記事掲載 ※6月、10月、2月（年3回）	「今日からできる大人のための認知症予防」を通年のテーマとし、発行月ごとに運動、睡眠、食事、脳トレ等予防策を紹介した。また、各種事業への参加呼びかけを行った。
社協ホームページの活用 ※定期更新、随時更新	各種事業の告知や実施報告などの情報を随時アップし、タイムリーな情報提供に努めるとともに、講座への参加等QRコードを掲載し、参加者のニーズに合わせた活用方法を模索した。
市広報への記事掲載 ※事業案内	家族介護者交流カフェ、リフレッシュ事業、介護講座等の市民向け事業の案内を掲載し、参加者募集を呼びかけた。

項 目	内 容
介護予防カレンダーの作成・配布 (1,000部)	自宅で取り組める介護予防体操を掲載したカレンダーを作成し、高齢者世帯へ広く配布・啓発を行った。
各種団体・地域支え合い会議等へのセンター活動のPR	各地区の民生児童委員連絡協議会・ブロック社協・寿会や地域支え合い会議等に参加し、地域包括支援センター2拠点における活動内容や事例報告などを通し、活動内容のPRを行った。

#### ④福祉出前講座等への包括職員派遣と協力機関

団体名	開催日	内 容
清須市学校給食センター	令和5年8月1日(火)	認知症サポーター養成講座
地域サロンクローバー	令和5年9月20日(水)	認知症サポーター養成講座
清須市民生・児童委員	令和5年10月19日(木)	認知症サポーター養成講座
愛知県介護福祉士会	令和6年2月25日(日)	認知症サポーター養成講座

## (2) 権利擁護業務

①相談・対応実績 ⇒ のべ件数：946件 ※昨年度比で約2.7%（25件）増加

### ◆相談内訳

	内 容	件 数(延数)
1	お金に関する相談（金銭的な困窮など）	360
2	成年後見制度・日常生活自立支援事業・身元保証などに関する相談	144
3	高齢者虐待に関する相談	435
4	消費者被害	7

### ②高齢者虐待への対応

#### ◆高齢者権利擁護連絡調整会議の開催：10回開催

※高齢福祉課と包括とで実態把握及び情報共有を行い、対応について協議していくために開催

	高齢者虐待への対応内容	件 数(実数)
1	令和5年度 新規ケースの受付及び対応等	15
2	令和4年度以降の継続ケースへの対応等	3

◆高齢者虐待防止ネットワーク協議会への参加

開催日	令和6年1月31日(水) 午前10時～11時
議事	① 高齢者虐待防止ネットワーク協議会について ② 令和5年1月～12月の相談通報実績について ③ 高齢者虐待対応事例の紹介 ④ 高齢者虐待通報先の周知について

③専門機関との連携

◆弁護士との連携：令和5年度実績 2件

◆リーガルサポートあいちく司法書士>との連携：令和5年度実績 0件

◆くらし・しごとサポートセンターとの連携

⇒個別ケースの情報を共有し、連携を図るため「生活困窮者自立相談支援事業調整会議」(月1回実施)に参加

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①関係機関との連携体制の構築

◆関係機関との連携

関係機関	連携の内容
民生児童委員連絡協議会	地域の高齢者や家族等から相談を受けた時や心配な高齢者を発見した時に、地域包括支援センターに連絡をいただき、必要に応じて一緒に訪問するなど、連携して対応を行った。
西名古屋医師会	「地域ケア個別会議」にアドバイザーとしてご参加いただき、事例検討を通じて、医師の立場から様々なアドバイスをいただくことができた。また、社協だよりの記載内容について監修を頂いた。
西春日井歯科医師会・ 歯科衛生士会	「地域ケア個別会議」にアドバイザーとしてご参加いただき、口腔観察シートを基に歯科医師の立場から様々なアドバイスをいただくことができ、多職種連携の推進につながった。
西春日井薬剤師会	「地域ケア個別会議」にご参加いただき、薬剤師の立場から様々なアドバイスをいただくことができた。また、介護支援専門員や介護サービス事業者等に、薬剤師の仕事について知っていただく機会となり、多職種連携の推進につながった。
清須市高齢者見守り活動協力事業者	清須市と「高齢者見守り活動協定」を締結している事業者より、「新聞が溜っている」「何度も通帳を紛失していて心配」など、気になる方の情報をいただき、高齢福祉課と連携を図り対応を行った。
ケアまる会きよす	地域包括支援センター主催の「地域ケア個別会議」「多職種研修会」等、事業の開催にあたっては、参加者への声かけ等にご協力をいただき、双方で協力し合いながら連携を深め、情報共有や交流を図ることができた。

関係機関	連携の内容
清須市リハビリテーション連絡協議会	「地域ケア個別会議」「多職種研修会」にご参加いただき、リハビリ専門職の立場から様々なアドバイスやご意見をいただくことができた。また、令和3年度から市の新規事業で始まった「清須市リハビリテーション専門職派遣事業」について、代表者と意見交換・連携を密に行うことで、事業の円滑な実施、活用ができた。
尾張中部訪問看護ステーション連絡会	「地域ケア個別会議」「多職種研修会」にご参加いただき、在宅医療・介護の連携の観点から、ターミナルケア、認知症介護等の医療依存度の高いケースへのアドバイス・ご意見をいただいた。また、事例検討を通じて、訪問看護の活用方法・連携時の留意点等の意見交換を行うことができ、多職種連携の強化につながった。

## ②介護支援専門員の活動支援

◆相談援助及び助言 ⇒ 相談件数：744件 ※昨年度比で約3.6%（26件）増加

### 【主な相談内容】

<ul style="list-style-type: none"> <li>●清須市が営業範囲のヘルパー事業所を教えて欲しい。また空きのあるヘルパー事業所を紹介して欲しい。</li> <li>●介護が必要な状況だが、身勝手な言動の家族への関わり方について相談したい。</li> <li>●夫（妻）の暴言、暴力がある。長年の夫婦関係もありその状況が日常となっている様子であるが、どう支援していけば良いか。</li> <li>●虐待行為が落ち着いて、分離せず過ごしているが状況の悪化が見られる。</li> <li>●本人の年金を頼りに子供が同居している。介護に対してもなかなか理解してもらえない。これは虐待か。今後どのように対応したらよいか。</li> <li>●子が親を介護しているが、適切な介護状況とは言えない。虐待にならないか。</li> <li>●清須市の総合事業の使い方を教えて欲しい。</li> <li>●身元保証に関する情報が欲しい。</li> <li>●成年後見に関する相談対応と取り次ぎをしてほしい。</li> <li>●ネグレクトの疑いのある家庭へ同行訪問してもらえないか。</li> <li>●キーパーソンとなっている方が手を離したいと言っている。今後誰をキーパーソンとしていけばよいか。</li> </ul>
---

## ③介護支援専門員研修

◆清須市の高齢者福祉事業等説明会

開催日	令和5年5月23日（火） 参加者：64名
内容	清須市役所【高齢福祉課・社会福祉課・健康推進課】、清須市社会福祉協議会【地域包括支援センター・地域福祉係】が所管する各制度・事業の説明
対象者	居宅介護支援事業所、医療機関、介護サービス提供事業者

◆ケアマネジャー研修会

開催日	令和5年9月26日(火) 参加者：61名
内容	<p><b>【講話】</b></p> <p>①「身寄りのない高齢者や判断能力が低下している高齢者の金銭管理や身元保証に関する課題」 講師：小牧市社会福祉協議会 事務局次長 田中 秀治 氏</p> <p>②「金銭管理や身元保証問題が発生した時の対応のポイント」 講師：きよす総合法律事務所 弁護士 児玉 享 氏</p> <p>③「成年後見支援センターの業務内容と相談対応の流れ」 講師：清須市成年後見支援センター 管理者 松岡 幸雄 氏</p> <p><b>【演習】</b></p> <p>「身寄りのない高齢者の金銭管理、身元保証問題を考える」 ・事例紹介 ・個人ワーク ・グループワーク ・発表 進行：小牧市社会福祉協議会 事務局次長 田中 秀治 氏 アドバイザー：きよす総合法律事務所 弁護士 児玉 享 氏</p>
対象者	清須市民のケアプランを作成している居宅介護支援事業所の介護支援専門員

3. 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

①地域ケア個別会議の開催

◆定例開催

第1回 令和5年6月15日 (木)	事例①	「夫婦ともに認知症があり、サービスがうまく使えない事例」 (参加者：60名)
	ケース固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月2回の居宅療養管理指導、お薬カレンダーを利用しているが、飲み忘れや気力がなく飲めない時がある。座薬も使えていないとの事で回復してきているとはいえ、疼痛コントロールが行えていないとデイサービスの利用やQOLに支障をきたす。</li> <li>・ケアマネとキーパーソンの問題認識にズレがある。キーパーソンに正しく現状を理解してもらうことが課題。</li> <li>・夫が認知症であり、十分水分補給を促すことができない。</li> <li>・色々な援助が必要な状況だが、家族は援助を求めている。</li> <li>・往診時に看護師がオムツ介助を行っている。痛みでトイレも這って行っているため排泄が課題である。また、そのような状況があるため、入浴に関しても心配がある。</li> </ul>
	事例②	「地域で認識されていなかった精神疾患や生活困窮など多問題を抱える家庭における高齢者支援」 (参加者：60名)
	ケース固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーパーソンが不在。</li> <li>・課題・問題の整理をする人がいない。</li> <li>・預貯金があるため生活保護にかかることができないが、経済的に余裕がない。</li> </ul>
	事例①	「要介護の父と同居し、近い将来直面する困難な課題にも不安を感じてないように見える「みなし2号の方」への支援」 (参加者：54名)

第2回 令和5年8月18日(金)	ケース 固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護3の父と同居し、収入もないため2人で生活保護を受給している。</li> <li>・本人も傷病だが、父の介護者として買物等の生活支援を行っている。</li> <li>・傷病前から就労経験が乏しく、就労する意欲も見られない。</li> <li>・今後、父の施設入所等で独居となった場合を踏まえ、どのように生活していくのか見えてない。</li> <li>・コロナ前は友人との交流もあったが、最近は交流がないため、社会参加の機会がなくなっている。</li> <li>・脳出血の後遺障害があるが本人は年齢が若くこれからの人生も長いいため、体調を維持するために色々と検討することがある。</li> <li>・運動療法、カロリー制限、肥満症外来への受診や管理栄養士の指導などを検討したらどうか。</li> <li>・BMIと歯周病の進行リスクはリンクしており、歯科の受診・訪問診療も検討したらどうか。</li> <li>・金銭管理ができず、家賃滞納、光熱水費の未納や消費者金融からの借金をしている可能性がある。</li> </ul>
	事例②	「バリアフリー対応になっていない集合住宅で、在宅生活を望む独居高齢者への支援」 (参加者：54名)
	ケース 固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅の各階にエレベーターはあるが停止位置が中間部にあるため、高齢者にとっては生活することが困難な建物になってきている。</li> <li>・住み慣れた地域での在宅生活を希望しているが、階段の昇降がきつく引きこもりがちになり、歩行困難や社会参加の減少によって生活機能も低下してきている。</li> <li>・マンションの昇降時に階段利用時の転倒・骨折リスクがある。</li> <li>・デイケアを利用するために、1人で階段の昇降やエレベーターを利用して1階まで降りてきている。利用しているデイケアは、運転手1人で送迎を実施しており同乗者の見守りを行う必要がある事から玄関まで送迎が難しい。</li> <li>・口腔乾燥に伴う誤嚥性肺炎のリスクもあるため、歯科治療をした方が良い。</li> <li>・生活保護ケースワーカーと相談して1階住居やバリアフリー対応の住居への転居を検討する。</li> </ul>
第3回 令和5年10月13日(金)	事例①	「多額の債務を抱えながらも金銭課題を先延ばしにして現状の生活に執着する高齢者世帯への支援」 (参加者：49名)
	ケース 固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多額の債務を抱えても「本人が困っていないこと」がケース課題での一番表れている事象。本来なら既に破綻しているはず。</li> <li>・本人は金銭管理ができておらず、収支バランスも崩壊している。債務額は膨れ上がるばかり。</li> <li>・本人が現状維持を望んでいるのならば誰が何を言っても聞く耳を持たないのではないか。実際に生活困窮していることをじわりじわり時間をかけて伝え続けるしかない。</li> <li>・生活保護を受給することで生活基盤が安定され、適正なサービスが受けられるはず。現在は中途半端に何とかなっている。ただし、生活保護は本人の意思がない限り勧められない。</li> <li>・家主から多額の家賃滞納や引っ越し費用などの請求があるとのことだが、家主から滞納額についての訴訟が起こされる可能性がある。</li> <li>・歩行能力は本人理解と実際に乖離がある。しかし、畑で使用する支柱を杖代わりに使用して、結果的には駐車場まで歩行したり、買い物も1人でできてしまっているのが困り感がない。</li> <li>・下肢痛を起因として、意欲の低下、現実逃避も考えられるので、メンタルケアが必要と感じる。</li> </ul>

第3回 令和5年10月13日（金）	ケース固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の生活を変えたくないという意思は固い。</li> <li>・妻の入所施設を介護老人保健施設に比べると介護費用が安い特別養護老人ホームへ移動させたらどうか。</li> </ul>
	事例②	「権利擁護に関わる課題を乗り越えた身寄りのない高齢者への支援」 (参加者：49名)
	ケース固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所系のサービスを利用すれば食事が摂れたのではないかな。</li> <li>・色々なサービスを利用している方なので、その他の各機関との情報共有が大事になってくる。</li> <li>・施設入所されたので良かったとの意見が出た。どういった施設か、病状が進んだら、またその状態にあった施設を探さないといけなかな。</li> <li>・薬局とか訪問看護師は施設でも中に入れるので、地域の社会資源を入所施設であっても活用することができる。</li> <li>・関わっている機関の職員から「性格がいい」と皆さんに好かれる精神疾患の方っていいね。</li> <li>・関わっていた方。当初は通所に行っても昼食代の支払いも困っていた方。途中でお金も溜まってきたので人との関わりあいも好きな方だったのでデイサービスに行かせてあげてもよかった。</li> <li>・訪問看護は医療サービスを利用しても良かったのでは。</li> <li>・各機関が領域を越えて支援している部分で、ケアマネジャーは色々な課題を1人で悩み抱えている。今回の場合、本人の好かれる人柄によって各分野が領域を越えて支援していたので良かったことではないかな。</li> <li>・色々な福祉サービスが入っていて、ここに至るまでに大変なご苦労があったのではないかな。これからも色々な機関が連携して支援できていければいい。</li> <li>・生活保護のCWだけではなく、身元保証の会社の方も付き添っていてよかった。</li> </ul>
第4回 令和5年12月14日（木）	事例①	「きよす集中リハビリサービス卒業後の支援について」 (参加者：50名)
	ケース固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中リハ卒業後も生活支援通所（自費）や自宅から離れた通いの場への参加を望む方への外出支援をどうするか。</li> <li>・集中リハ卒業に向けた支援として、機能改善が見られた方に通いの場やボランティア活動への参加、趣味の再開など個々の状況に寄り添った伴走型支援によって社会参加へと繋げていく必要がある。</li> <li>・公的サービス以外で出歩ける機会が創出できるといい。</li> <li>・尾張地区の複数市で実施している「デマンドタクシー」制度があれば高齢者や障害者の移動手段として外出支援にもなるし、運転に不安のある方の運転免許証返納にも繋がる。</li> </ul>
	事例②	「クーラーが故障した自宅で、真夏でも暮らしている独居高齢者の支援について」 (参加者：51名)
	ケース固有の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンが故障して使用できず、真夏でもエアコンが使用できない状況となっている。</li> <li>・猛暑の日の自宅では熱中症になるリスクがある。</li> <li>・エアコンがない状態で生活していて、本人も必要性を感じていないことがある。</li> <li>・ごみ出しを町内会で協力してくれる地域なので依頼すればやってもらえるかもしれない。</li> </ul>

	<p>ケース固有の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症対策（在宅回避）としてデイサービスの日数を増やしている。</li> <li>・子供たちからの支援も本人の遠慮もあって多くを求めている。</li> <li>・コミュニティバスは昇降時に転倒した経験があり苦手で、通院時等にはタクシーを利用するため負担になる。</li> <li>・歩行が不安定でゴミ出しが上手く出来ない。</li> </ul>
<p>第5回 令和6年2月16日（金）</p>	<p>事例①</p>	<p>「自己主張が強く思い通りに物事を進めたい本人と、本人の訴えをそのまま苦情として訴える家族への支援について」 (参加者：38名)</p>
	<p>ケース固有の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人への介護や身の回りの世話などを長女が全て担っており、介護者のストレスの緩和となる支援をどうしていくべきか。</li> <li>・本人の被害的な考えや自分本位の思いを汲んで長女がサービス事業所への苦情を訴えることがあり、その際のケアマネジャーやサービス事業所への対応に何か工夫はできないか。</li> <li>・次女の子どもの面倒なども長女が任されることもあり、長女の精神的な疲れもみられる。</li> <li>・長女の体調次第で、今後の生活状況が一変する可能性がある。今後のことを踏まえ、ショートステイも視野に入れて考えているが、本人は利用したくない思いが強い。</li> </ul>
	<p>事例②</p>	<p>「慢性腎不全で通院透析を受けながら在宅生活を希望する要介護者を介護する家族への支援について」 (参加者：38名)</p>
	<p>ケース固有の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院送迎時は訪問介護員により移動リフト、昇降機操作、更衣、排泄介助は行われているが、それ以外の全ては夫が介護しているため疲弊している。</li> <li>・夫への介護負担が増大して困難となった時に透析通院ができる住宅型施設が少ない。また療養型病院への入院は本人が拒んでいる。</li> <li>・夫は責任感・使命感が強く、本人の在宅希望をできる限り叶えたいと考えている。</li> <li>・できる限り在宅介護を望む家族について、本人・夫・長女で話し合い、こうなったら入院や入所といったようにゴール設定ができるといい。</li> </ul>
<p>ケースから見える普遍的課題</p>	<p>本人・家族</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごとを認識できない。</li> <li>・就労意欲の低下。</li> <li>・サービスの受け入れに消極的。</li> <li>・金銭管理の拙さ。</li> <li>・家族亡き後の生活の不透明さ（同居から独居）。</li> </ul>
	<p>病気・障害</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症、脳梗塞等の後遺症による高次機能障害、アルコール依存による認知機能低下等。</li> <li>・歩行困難からくる社会参加機会の減少、生活機能の低下。</li> <li>・口腔内衛生の悪化による病気のリスク。</li> </ul>
	<p>生活環境等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住環境の構造的不便さによる転倒、骨折のリスクが高い。</li> <li>・身元保証がない。</li> <li>・不衛生。</li> <li>・ペットを手放せない。</li> </ul>
	<p>地域の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の状況に寄り添った伴走型支援による社会参加の機会の創出が必要。</li> <li>・「デマンドタクシー」「ライドシェア」等、移動手段の確保が必要</li> </ul>
	<p>支援者の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身元保証や金銭管理を導入（提案）するタイミングの見極めが難しい。</li> <li>・意思決定できない家族への支援が難しい。</li> <li>・ケアマネとしてどこまで関わるのかの見極めが難しい。</li> </ul>

◆随時開催：9回（8ケース）

●世帯構成 ( ) は実数

区分	R5年度
独居又は実態として独居	1件（1ケース）
高齢者世帯	1件（1ケース）
家族と同居	4件（3ケース）
施設入居	2件（2ケース）
不明その他	1件（1ケース）
合計	9件（8ケース）

●日常生活圏域

区分	R5年度
西枇杷島地区	0件（0ケース）
清洲地区	5件（5ケース）
新川地区	1件（1ケース）
春日地区	3件（2ケース）
合計	9件（8ケース）

●検討事項

内訳	R5年度
権利擁護（成年後見、金銭管理、身元保証、虐待、利用料金の未納）	4件
終末期の調整（サービス・亡くなった後のことなど）	1件
今後のサービス調整（在宅・施設）情報共有、介護者や支援者の役割分担	6件
合計	11件

②多職種研修会の開催

開催日	令和5年11月17日（金）13時00分～16時00分 ★参加者：51名
テーマ	「高齢者虐待が疑われるケースの早期発見・早期対応に向けて」 ～各機関及び従事者の役割と連携を考える～
内容	<p>講話①「高齢者虐待防止の基本と各機関及び従事者の役割・連携について」 講師：社会福祉法人小牧市社会福祉協議会 事務局次長 田中 秀治 氏</p> <p>講話②「清須市における高齢者虐待対応の実際について」 講師：清須市役所健康福祉部高齢福祉課高齢福祉係 世森 健太 氏</p> <p>演習「高齢者虐待が疑われるケースの早期発見・早期対応に向けて」 ～各機関及び従事者の役割と連携を考える～ ・事例紹介 ・個人ワーク ・グループワーク ・発表 講師：社会福祉法人小牧市社会福祉協議会 事務局次長 田中 秀治 氏</p>

対象職種	医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員、福祉用具専門相談員、事務職など
------	---

③清須市オレンジサポートチーム（清須市認知症初期集中支援推進事業）との連携

総合相談等で、認知症に関連する相談を受け、オレンジサポートチームの対象者であると判断した場合に、地域包括支援センターで訪問支援対象者として受付を行い、清須市から委託を受けている清須市オレンジサポートチーム（五条川リハビリテーション病院内）へ対応を依頼し、同行訪問したり会議に出席したりするなど、連携を図り対応を行った。

また、チーム員会議として毎月定例会議を開催し、地域包括支援センターで相談対応を行ったケースの報告と、依頼ケースの協議を行った。

実施内容	件数
チーム員会議（毎月開催）	12回
相談・報告数	80件
新規依頼件数	2件

④重層的な相談支援体制の整備に向けての取り組み

- ◆健康推進課主催の「清須市ひきこもり支援ネットワーク会議」への参加 2回
- ◆清須市社協相談支援ネットワーク会議における社協部署間での連携強化 5回

4. 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）について

①介護予防支援・介護予防ケアマネジメントに関する相談 ⇒ のべ件数：7,690件

※昨年度比で約1.0%（82件）増加

②新規利用者数（契約件数）⇒ 実件数：229件

※昨年度比で約2.2%（5件）増加

内訳		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
直接分	総合福祉C	4	3	2	3	3	4	7	2	7	4	4	5	48
	さわやか	5	4	4	7	7	5	12	7	6	4	7	8	76
	小計	9	7	6	10	10	9	19	9	13	8	11	13	124
委託分	総合福祉C	5	6	2	3	5	1	3	4	1	2	3	1	36
	さわやか	9	1	9	3	6	8	10	4	1	6	7	5	69
	小計	14	7	11	6	11	9	13	8	2	8	10	6	105
合計		23	14	17	16	21	18	32	17	15	16	21	19	229

<要介護度の内訳>

内訳		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
事業対象者	総合福祉C	1	1	0	2	0	2	2	1	3	0	0	2	14
	さわやか	2	1	0	2	3	1	4	1	1	0	2	2	19
	小計	3	2	0	4	3	3	6	2	4	0	2	4	33
要支援1	総合福祉C	4	4	2	1	2	1	3	0	2	2	2	1	24
	さわやか	6	3	2	5	2	4	7	7	0	2	2	2	42
	小計	10	7	4	6	4	5	10	7	2	4	4	3	66
要支援2	総合福祉C	4	4	2	3	6	2	5	5	3	4	5	3	46
	さわやか	6	1	11	3	8	8	11	3	6	8	10	9	84
	小計	10	5	13	6	14	10	16	8	9	12	15	12	130
合計		23	14	17	16	21	18	32	17	15	16	21	19	229

③介護予防支援費・介護予防ケアマネジメント費請求件数（給付管理を行った数）

⇒ のべ件数：6,184件 ※昨年度比で約1.9%（118件）減少

内訳		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
介護予防支援費	総合福祉C	144	144	148	152	152	150	161	154	149	146	152	152	1,804
	さわやか	204	199	209	205	203	199	223	215	209	208	215	216	2,505
	小計	348	343	357	357	355	349	384	369	358	354	367	368	4,309
うち委託	総合福祉C	90	92	97	96	97	97	104	97	92	87	92	88	1,129
	さわやか	133	128	131	132	132	124	138	136	126	123	129	129	1,561
ケアマネジメント	総合福祉C	59	53	52	51	49	49	55	48	51	52	49	53	621
	さわやか	106	110	110	104	106	107	119	108	100	98	94	92	1,254
	小計	165	163	162	155	155	156	174	156	151	150	143	145	1,875
うち委託	総合福祉C	22	21	19	15	17	16	18	15	17	15	14	15	204
	さわやか	60	63	65	60	57	64	63	59	54	52	49	46	692
合計	総合福祉C	203	197	200	203	201	199	216	202	200	198	201	205	2,425
	さわやか	310	309	319	309	309	306	342	323	309	306	309	308	3,759
	小計	513	506	519	512	510	505	558	525	509	504	510	513	6,184
	うち委託													
	総合福祉C	112	113	116	111	114	113	122	112	109	102	106	103	1,333
さわやか	193	191	196	192	189	188	201	195	180	175	178	175	2,253	

④業務委託先一覧と委託者数（のべ件数）

◆委託先 48 事業所

◆委託件数（のべ件数）：3,586 件 ※昨年度比で約 8.0%（267 件）増加

◆委託先内訳

（順不同）

委託先事業所	件数	委託先事業所	件数
ライフケア居宅介護支援事業所	118	福寿想居宅介護支援事業所	176
ゆうケアプランセンター	17	株式会社福祉の里 名古屋鳴海営業所	12
福神居宅介護支援事業所	37	介護支援センター花咲	244
西春日井福祉会ケアプランセンターペガサス	290	海部東部介護支援センター	28
たんぽぽ居宅介護支援甚目寺	24	ケアプランハウスゆう	64
庄内の里介護支援センター	20	ケアプランはるひ	179
五条川居宅介護支援事業所	82	はなさきクリニックケアプランセンター	130
ケアプランひまわり	126	清洲ケアマネ事業所	92
清須市社会福祉協議会ケアプランセンター清須	204	あま居宅介護支援事務所	21
株式会社福祉の里 清須	643	ケアプランセンターベルデ岐阜中央	12
愛ケアプランセンター	24	愛	1
ケアマネージメントセンターアイビー	227	あしたば居宅介護支援事業所	15
ケアプランすずき	24	宝会指定居宅介護支援事業所	4
ケアプランふれあいサービス	12	居宅介護支援事業所かなめ	28
介護支援センターやわらぎ	12	山田指定居宅介護支援事業所	12
ティアレ介護支援ステーション	54	サラダ居宅介護支援事業所	12
介護相談センターあゆ	150	あいあけありんぐ	69
やまと介護サービス	22	ふくケアプランセンター	218
緑の家けあぷらん名西	109	いろは居宅介護支援事業所	2
安藤医院居宅介護支援事業所	12	あいきりケアプラン	7
カルミア介護支援事業所	5	ケアセンターくすのき	4
ケアマネステーションテラス	11	Kライン・ケアプランセンター稲沢	1
さんわケアプランセンター	5	セーヌ蟹江居宅介護支援事業所	8
ハンズケアプランセンター	10	ピースポット・ケアプラン	9

⑤介護予防・日常生活支援総合事業の推進に係る取組み

内 容	会議名称	回数
リハビリテーション専門職との情報共有	清須市リハビリテーション専門職派遣事業に関する打合せ会	1 回
介護予防・日常生活支援総合事業、生活支援体制整備事業等の進捗状況報告や情報共有、課題の検討	高齢福祉課、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター 打合せ会	12 回

## 6. 任意事業

### (1) 家族介護者交流事業（受託事業）

#### ①介護者リフレッシュ事業

◆事業名：介護者リフレッシュ事業

開催日	令和5年11月13日（月）	★参加者：13名
行き先	蒲郡オレンジパーク、えびせんべいとちくわの共和国	
内容	みかん狩り 昼食、買い物	

#### ②家族介護者交流カフェ

回数	日時	場所	参加者数
第1回	令和5年4月13日（木） 13:30～15:00	清洲総合福祉センター 第5会議室	介護者 6名
第2回	令和5年5月17日（水） 13:30～15:00	新川福祉センター 集会室	介護者 5名 当事者 1名 ボランティア 1名
第3回	令和5年6月20日（火） 13:30～15:00	春日老人福祉センター 第4会議室	介護者 6名 ボランティア 1名
第4回	令和5年7月12日（水） 13:30～15:00	にしびさわやかプラザ 会議室	介護者 7名
第5回	令和5年8月17日（木） 13:30～15:00	清洲総合福祉センター 第4会議室	介護者 3名
第6回	令和5年9月21日（木） 13:30～15:00	新川福祉センター 集会室	介護者 3名
第7回	令和5年10月17日（火） 13:30～15:00	春日老人福祉センター 第4会議室	介護者 7名
第8回	令和5年11月16日（木） 13:30～15:00	にしびさわやかプラザ 会議室	介護者 8名 ボランティア 1名
第9回	令和5年12月13日（水） 13:30～15:00	清洲総合福祉センター 第5会議室	介護者 5名
第10回	令和6年1月18日（木） 13:30～15:00	新川福祉センター 集会室	介護者 6名 ボランティア 1名
第11回	令和6年2月20日（火） 13:30～15:00	春日老人福祉センター 第2会議室	介護者 5名
第12回	令和6年3月13日（水） 13:30～15:00	にしびさわやかプラザ 会議室	介護者 8名 ボランティア 1名

### ③介護講座

第1回	開催日	令和5年7月21日(金) 10:00~12:00 ★参加者:15名
	場所	清洲総合福祉センター 2階第1会議室
	内容	「知っておきたい高齢者の排泄トラブル ～排泄トラブルの原因と対応～」 講師:認定特定非営利活動法人 愛知排泄ケア研究会 排泄機能指導士 伊神 敬人 氏
第2回	開催日	令和5年9月14日(木) 10:00~12:00 ★参加者:10名
	場所	にしびさわやかプラザ 3階研修室
	内容	「家族介護におけるトラブルと応急手当の基礎知識」 講師:訪問看護ステーション恵 看護師 柘植 あかり 氏

### 7. その他

- (1) 車いす貸出事業(社会福祉協議会事業) ★貸出件数:75件
- (2) 各種研修会及び会議への参加
- (3) 職員会議 ⇒ 毎月1回実施